

ビラフトビ+アービタックス+mFOLFOX6療法

【消化器内科】97【進行性・再発大腸癌】

(第 コース目)

*網かけ部分は必須記入事項

診療科:	病棟:
医師名:	印

身長:	cm	体重:	kg
体表面積:	m ²	Cr:	mg/dL

■ レジメン 下記が1コースの投与スケジュール : 2週ごとを1コースとする

Day	1	2	~14
施行日	/	/	
アービタックス	↓	休薬	
エルプラット	↓	休薬	
アイソボリン	↓	休薬	
5-FU	↓	↓	
ビラフトビ	経口:連日服用		

■ 投与順序 ※マークは同タイミング投与薬あり

滴下順	
①	アロカリス注235mg 1V デキサート注1.65mg 2A ポラミン注5mg 1A 生食 100mL 30分
②	●アービタックス【 】mg 生食 250mL 2時間
③	グラニセトンバッグ 100mL 30分
※④	●エルプラット注【 】mg 5%ブドウ糖 250mL 2時間
※④	同時に 側管より ●アイソボリン注【 】mg 5%ブドウ糖 250mL 2時間
⑤	●①5-FU注【 】mg 生食 50mL 3分
⑥	生食 50mL 10分フラッシュ
⑦	●②5-FU注【 】mg 5%ブドウ糖 120mL 約46時間baxter infusion pumpで

■ 投与量 ※投与量の参考

薬剤名	標準投与量	
アービタックス	500 mg/m ²	mg/Body
エルプラット	85 mg/m ²	mg/Body
アイソボリン注	200 mg/m ²	mg/Body
①5-FU注	400 mg/m ²	mg/Body
②5-FU注	2400 mg/m ²	mg/Body
ビラフトビ	1回300mg	1日1回

入力 薬剤師	看護師	看護師

■ 注意・確認事項

- 中心静脈から投与すること。
- アービタックス投与中又は24時間以内にinfusion reactionが起こる場合があるので注意すること。
- 大腸癌組織でのBRAF遺伝子変異を認める症例に使用すること。
- エルプラットは塩化物・塩基性溶液との混和は不可。